

サービスマーケティングを振り返って

社会福祉学部社会福祉学科 2年 岩間 利哉

活動先：NPO 法人 プレマクラブ

ゼミ：松下 典子先生

はじめに、私は2年生になり、松下先生のゼミでいろいろ活動をしていくまでは、NPOについての知識はほとんど無かった。名前は聞いたことが何回もあるが、どういう団体で、どのような活動をしているのか、なぜ必要とされているのかなど全く知らなかった。しかし、この1年間でNPOについてサービスマーケティングの活動を通して学ぶことができた。これからその振り返りをまとめていく。

私が今回サービスマーケティングを行うにあたり選んだ活動先は、NPO法人プレマクラブが運営する、学童保育げんきッズ南部である。げんきッズ南部を活動先として選んだ理由は、特に深いものはなく、ただ子どもと関わることがしたかったからである。活動先がげんきッズ南部に決まり、目標などを決めることとなったが、ここで困ったことが一つあった。それは、目標が定まらないということである。今回学童保育所に保育を学びに行くのが第一の目標ではないため、なにを学びに行けばいいのかとても悩んだ。結局、うまく目標を立てることができなかった。

活動を始めていくにあたり、活動先の方から、子どもたちが喜ぶ企画を考えてほしいとお願いされた。自分たちが最初に思いついたのが、みんなで一斉にできるようなゲームである。しかしこれを提案したところ、子どもたちを全員動かしてゲーム等を行うことは、とても難しいことだと言われてしまった。確かに、一度見学に行ったとき、とても元気の良い子どもたちばかりで、個々にいろんな遊びを楽しんでいる様子であったため、全員をまとめることはかなり難しいことであるなど感じた。ではどういった企画を考えればいいのか、さっぱりわからないまま日にちが過ぎていき、活動を開始する少し前になって、ようやくいくつか企画を立てた形となってしまった。企画の内容としては、子どもたちにすごいと思わせる芸をいくつか考えたが、企画の準備に懸ける時間が少なくなってしまう、どれもあいまいなものとなってしまった。

活動自体に対する不安もいくつかあった。一週間やりきることができるのか。子どもたちとうまく関わられるのか。何を学ぶことができるのか。企画はいつ行えばよいのかなど、様々な不安があった。しかし、活動先の方から、今回は優しいお兄さんであってほしいとお願いをされたので、それだけは忘れずに活動をしていこうと思った。

活動初日を迎えたが、やはり不安がたくさん残っていた。けれども、その不安を押し除けるくらいの子どもの元気な良さに驚かされた。いろんな子が話しかけてくれたし、一緒に遊んでくれた。いうことを聞かないやんちゃな子もいるし、一人で黙々と何かをしている子もいた。初日で学んだことは、このようにいろんなタイプの子がいるという

ことだった。また、これまであった不安は少しなくなっていった反面、子どもたちがどこまで自分に興味を持ってくれるのかが不安になってきた。

活動二日目以降も、子どもたちと遊ぶ中で子どもたちの日常に入っていき、優しいお兄さんとして、子どもたちを喜ばすことができたと思う。子どもたちも最終日まで自分に興味を持ってくれた。ただ、企画を行うことがやはりできず、そこは反省しなくてははいけないと思う。

実際の活動で学んだことは、企画、そして実践計画を立てることの大切さである。企画、実践計画がしっかりと立てられていないと、準備もできないし、活動自体が中途半端なものになってしまう。今回はこれを実感することができた。

実際の日中活動とは別に、学童保育所がなぜ必要なのかということ进行调查した。松下先生の話や、活動先の方の話、また自分たちでげんきッズ南部の周りの環境を見て回ったことから、なぜ必要なのかということ自分たちなりにまとめることができた。なぜ必要なのか？ 大きく言えば子どもたちの生活環境が時代によって少しずつ変化してきているからである。核家族が増加し、女性の社会参加、つまり共働きの家庭が増えたり、子どもたちが安心して遊ぶことのできる場所が少なくなっていることから、学童保育所が必要であることを実感することができた。

これは NPO 団体の必要性を感じることもできたと言ってもいいと思う。NPO はその地域にあるニーズをしっかりと見極め、そのニーズに対して 0 から活動を行っていき、今の場、形になっていると松下先生から学んだ。げんきッズ南部も、上に書いたようなニーズをしっかりと見極め、事業を始めていったのであろうと思う。なので、NPO が地域にとってなぜ必要なのかということ、実際に活動を通して学べたと思う。

最後に、自分自身がこの一年で成長したと思う部分を述べる。

一つ目は、グループのリーダーとして頼りなかった面もたくさんあったが、それなりに引っ張っていくことができたのではないかなと思う。活動先の方との連絡もしっかりと行うことができたので、この先もリーダーになることがあるかはわからないが、グループの中で率先して行動していけたらいいと思う。

二つ目は、今後の福祉を考えていくうえで重要なものとなっていく NPO について学びを深められたことは自分にとってとても大きなものとなったと感じている。NPO の存在を知ったことで、自分の福祉に対する視野がとても広がったように感じる。これは、この一年でほんとうに成長したなと思えるところであると思う。

活動中に最も印象に残ったことは、かき氷と流しそうめんを行ったことである。こういったものを学童保育所内だけでなく、地域全体でできれば、住民同士の関わりができ、繋がりが強くなるだろうし、地域も明るくなるのではないかなと思う。が、このような活動をしていくには人やお金も必要となってくると思う。この活動が地域の多くの人達につながって行うにはどうすればいいのか、参考文献など探して読んでみたいと思う。